

「第 3 期 安芸高田市学校規模適正化推進計画（素案）」に関する パブリックコメント（意見募集）の実施結果について

1 概要

「第 3 期安芸高田市学校規模適正化推進計画（素案）」（以下、計画（素案）という。）に関して、提出された意見と本市の考え方を公表します。

2 パブリックコメント（意見募集）の概要

募集期間	2024 年 5 月 1 日（水）～5 月 31 日（金） ※必着
計画（素案）の閲覧場所	・市ホームページに掲載（https://www.akitakata.jp/ja/） ・教育委員会教育総務課学校統合推進室、各文化センター、各支所
意見を提出できる方	①市内に住所を有する方 ②市内に通勤、通学されている方 ③市内に住所を有していなくても市に関係のある方
意見提出の方法	・ E メール：kyohikusohmu@city.akitakata.jp ・ 郵送：〒731-0592 安芸高田市吉田町吉田 761 番地 教育委員会教育総務課学校統合推進室 ・ F A X：0826-42-4396 ・ 直接持参：教育委員会教育総務課学校統合推進室、各文化センター、各支所 ※窓口及び電話での口頭による意見の受付は行いません。
意見提出の様式	・ 参考様式をお示ししますが、意見書の様式は自由です。 ・ 意見書には、「3 意見を提出できる方」の①～③をご記入の上、氏名、住所、連絡先（電話番号または E メール）を記入して、提出してください。

3 意見の提出方法と件数

提出方法	提出数	意見件数
E メール	9 通	11 件
郵送	0	0
F A X	0	0
直接持参	4 通	9 件
保育所等提出	10 通	16 件
計	23 通	36 件

4 意見の分類と対応

提出された意見（統合校の校数や場所、計画（素案）に対する質問・要望など）を、次のとおり分類し、整理しました。

【意見の分類と対応区分】

意見の分類 \ 対応区分	A	B	C	D	E	計
(1) 校数・場所に関すること	6		2	5		13
(2) 通学に関すること			2	6		8
(3) 教育内容に関すること				5		5
(4) 地域に関すること			2	1		3
(5) その他	1		4		2	7
合計	7		10	17	2	36

【対応区分】

- A：意見の趣旨が計画（素案）に沿ったもので、取り組みを推進するもの
 B：意見を踏まえ、計画（素案）を加筆又は修正するもの
 C：今後の取り組みを推進する上で、参考とするもの
 D：計画（素案）に対する質問や意見で、計画（素案）の内容を説明又は確認するもの
 E：その他

5 意見の要旨と本市の考え方

(1) 校数・場所に関すること（13 件）

No	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	1 校案に賛成します。理由は、 ・ 今 2 校にしても、将来的に 1 校に統合せざるを得ない時が来るのは明白。 ・ 甲田からは高宮に行くより吉田に行くほうが交通の便が良い。遅刻や学校行事などで保護者が行くにしても、吉田の方が行きやすい。 ・ 新設で、より未来を見据えた校舎を建てた方が教育効果が高いと思う。 ・ 1 教科に複数の教員がいる教育環境は魅力的。 ・ 部活の選択肢が増えるのは魅力的。2 校にすると第 2 の方は特に選択肢が狭まると思う。 ・ エリア的に 2 校案にメリットがあるのは高宮町のみだと思う。	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1 校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。	A

2	「1 校案」で一年でも早く開校できるよう計画をとにかく進めてほしい。 「1 校案」とすることで新しい中学校が少しでも長く続き、子供達が卒業後も時折訪れることができることも大切だと思う。	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1 校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。 開校時期については、できるだけ早く開校できるように取り組みます。	A
3	個人的には 1 校案に賛成なので、早く決めて実施計画へ動いて頂きたいのですが、最終決定は誰がどの様に、どの条件でしていくのか教えて下さい。 住民投票もありですし、何でも良いので早く決めて欲しいです。	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1 校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。 計画策定後、関係条例を市長が議会に提出し、議会議決によって学校統合が決まります。	A
4	今後 1 校案実現に向け、用地確保や校舎建設などの準備の期間も考慮すると、実現までにずいぶん年月がかかってしまうようにも思います。諸々課題はあると思いますが、それまでの間 2 校で進めていくことは難しいのでしょうか。	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1 校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。	D
5	1 校案と 2 校案がありますが、私は 2 校案を進めてほしいと思います。 理由の 1 つは、この計画の推進期間は 2028 年までの 5 年間とする。とありますが、この計画で行くと、新しい学校ができる頃には、生徒数はすでに減少しており、その頃に立派な学校ができても数年後には使われない教室や設備などがでてくるのではないかと不安があるからです。 また、遠方から来る生徒達の事を考えると、すでにある近くの学校に通って、2 校間で交流会や勉強会などが行えたらその方が負担も少なくなるのではないかと思います。	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1 校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。 学校施設については、生徒数の見込みや教育内容などを考慮し、将来にわたって有効活用できる施設を検討します。	D
6	市の財政のことや、子供が増える事でのメリット（クラブ活動等）を考えると 1 校案には賛成です。	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1 校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。	A
7	説明会で、『吉田町中心部、54 号線沿い、バスロータリーを有する、災害時避難場所となる新築校舎』と説明されており、全て一校にするために立案されていると受け取っている。現在の吉田町内でどこが望ましい場所かは、説明会でもまだ提示できていないという返答であったため不明である。しかし、子どもたちの安全のためには、言った言っていないという責任逃れのようなことがないように、	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1 校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。 具体的な場所については、様々な条件を総合的に判断し、選定する計画です。	C

	全ての条件を満たす場所を時間がかかっても確保して計画を立案してほしい。期限が目前だから、この場所で良いというような妥協は、絶対しないほしい。		
8	最終的に1校になるとしても、現時点では段階をふんで、2校案が望ましいと思います。新校舎を建てるのも、あまり賛成できない。今あるものを使った方がエコだと思います。	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。 学校施設については、生徒数の見込みや教育内容などを考慮し、将来にわたって有効活用できる施設を検討します。	D
9	できることなら、統合せずに自宅から一番近い中学校に進学して通学の負担を軽くしたいとは思いますが、生徒数が少ないと、部活動の人数確保が難しかったり、教職員の人数の問題であったり、色々あって、仕方がないのかなあとは思っています。 配置計画の点では、B案、2校案を支持します。1校案だと、高宮の方面（美土里、甲田）からだ、吉田まで遠すぎて通学が冬場など特に大変ですので、2校に分けた方がいいと思います。	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。 具体的な場所については、様々な条件を総合的に判断し、選定する計画です。	D
10	ここ3～4年で人口の減少を身近に感じます。向原町内も次々とお店や銀行が閉まりました。田舎で子育てもいいなと思って孫ターンしましたが、少子化を年々肌で感じます。面積の広い市で中学校が1つになると効率的な事が多くなりますが、反面通学時間が長くなり過ぎて、「通う」ことがしんどくならないか心配でもあります。 ただ子どもたちは大人が思っているよりもたくましいものです。小学生の子がいますが今年からのチーム担任制もすんなり受け入れ、先生が変わることのたのしみさえ見つけています。 おそらく、子どもがすくなくなっている今学校を一つにするというのはしかたがないことだと思います。 私は県外出身なので向原中学校に愛着がないので、複数クラスになる統合へ賛成ですが、愛着がある地元住民は反対すると思います。「愛着がある」といって反対する方の多くは、当時人口が多く今の問題は全くなかったはずです。 ここに来て、市長が次期市長選には出ない。	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。 開校時期については、できるだけ早く開校できるように取り組みます。	A

	と決めました。中学校統合をするのであれば早くすすめてほしいので、市長がかわったからといってとどこおりなくすすめてほしいと思います。		
11	市が一校に統合したいという案にはおおむね賛成なのですが、アンケートを親対象に取り始めてもう4年位経過しているように思います。 もう少しペースアップして進めていただけないでしょうか？ 市民への理解を求める事も大事な事なのはわかりますが、市民への位周知が行き届いたら1校案、または2校案が決定する予定なのか教えてください。 何度か説明会へ足を運んでも、同じ説明しかされないため、行かなくなりました。	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。 開校時期については、できるだけ早く開校できるように取り組みます。	D
12	まず私は1校案が良いと思います。2校案だと高宮にみどりの生徒と甲田の生徒が通うことになるというのが現実的ではないからです。子供が中学生になると、働く保護者が多くなるので何かあった時の送迎で高宮まで行くのは大変です。 部活動のこと、クラス替えのこと、教職員の配置、校舎の築年数のことで1校案にするべきだと思います。病気の子、発達に遅れのある子、何かしらの理由で学校になじめない子のためにSSRを設置するだけでなく、リモート学習という選択肢もほしいです。	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。 学校になじめない生徒については、SSR（スペシャルサポートルーム）の設置やICTを活用しながらきめ細かな学習指導を行うなど、特性に合った柔軟な学びの実現に取り組みます。	A
13	以前の説明会にも参加させていただきました。 中学校は1校案に賛成です。理由は、人口の推移としてもこれからも減少していくことを考えるといずれ1校になるのだろう、と考えるからです。 そのうえで、課題として通学時間が長い、部活動がなかなかできない、などが出てくるとは思います。が、「寮」的な存在があると解消するのではないかと思います。自分も美土里中学校の時、寮で生活していました。家から学校までの距離で入寮の条件があったと思います。 学習時間や部活動時間の確保ができやすくなるのではと考えます。	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。 学習時間や部活動時間の確保については、スクールバスの運行経路や時間割を工夫するなど、生徒の活動時間の確保に努めます。 現段階では、遠距離通学の対応としてスクールバスの運行を検討しており、寮の設置については考えていません。	C

(2) 通学に関すること (8 件)

No	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	○1 校案の場合の場所を明確にして欲しい ○1 校案 2 校案ともに通学手段や通学時間の情報を提供して欲しい 保護者説明会で、1 校案の場合の場所について質問されたことに対し「場所は吉田町内ということ以外決まっていない。1 校案にすると決まってから場所の選定に入ることになる」との説明がされました。 当たり前ですが、場所が未定であるため、スクールバスの運行や、通学時間なども明確にされておりました。2 校案も現中学校間の距離しかありませんでした。しかし過去の保護者アンケートにおいて、「統合において気になること」という問いに、「1 位 生徒の通学手段や通学時間 (24.4%)」「2 位 中学校の位置 (22.6%)」と、多くの保護者が非常に気にしているこの点において、何も提示しないというのはあまりにも保護者軽視で不親切であると感じます。アンケートはなんだったのでしょうか。 学校の場所や通学手段、通学時間によって、子どもが家を出る時間は変わるでしょうし、それによって親の起きる時間や仕事の時間なども変わってきます。特に我々は農業を営んでおり、日が昇る前から仕事をすることもあります。子どもが出発する時間に合わせて作業時間を調整したり、またそれに合わせて前日の作業なども考えないといけません。子どもだけでなく、親の仕事や生活にもかなり大きく関わることなのです。 1 校案の場合、現時点で完全に場所を決めるのは難しいかもしれませんが、せめて「吉田町内のこのエリアを検討しており、その場合スクールバスの運行やそれぞれの通学時間はざっくりこう」という情報くらいは必要だと思います。2 校案については場所が明確なので、スクールバスの運行や時間などある程度の情報を提示出来るのではないのでしょうか。 1 校案にはメリットも多くあり、個人的に反対というわけではありませんが、さすがに学校の場所も通学手段も通学時間も不明な中、「1 校案がいいですか、2 校案がいいですか」と問われたところで、答えようがありません。	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1 校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。 統合中学校の設置場所については、場所の安全性、通学の利便性など、様々な条件を総合的に判断して決定する計画です。 統合によって通学時間が長くなることが想定されますが、概ね 1 時間で通学できるようにスクールバスの便数や経路を検討します。	D

	ん。 子ども達が3年間という貴重な時間を過ごす場所です。よりよい環境を整備するためにも、拙速に進めるのではなく丁寧に検討するとともに、各方面にしっかりと情報提供をしていただきたいと思います。		
2	「素案6(1) 通学条件の整備」は難しいと考えます。今年度、広電バス（上根・吉田線）でさえ大幅に減便されました。2024年問題などもある現状、スクールバスは本当に運行され続けるのでしょうか。生徒や保護者負担が増える可能性も周知の上で、計画を進めてほしいです。	中学校の統合によって遠距離通学となる生徒については、公共交通の利用やスクールバスを運行して対応します。	D
3	中学校統合案、生徒数の状況を考えるとやむを得ないかと思います。 これまで9年間わが子が中学校に通いましたが、改めて、子どもが自力で通える場所に学校があったことを有難く思いました。中学校の統合で一番不安を感じてきた点は通学に於いての子どもたちと保護者の負担です。朝夕にスクールバスなどの停留所まで保護者の送迎が必要となってくると、通学は毎日の事なので負担となる家庭もあると思います。別々な学校や保育所等に通う子どもたちがいる家庭では尚更です。 「どうせ通学に負担が生じるならいっそ私立や県立に行かせよう」と市外へ子どもが出ていく理由の一つにもなりかねないと思います。 ただ、昨年度より将来的な統合を見据えて中学校の時間割や下校時間が変更され、その点の不安は解消されるかとは思いました。子どもにとっても帰宅後に時間的な余裕があり、終業時刻の変更は良かったように思います。私は中学校の保護者を卒業しましたが、今後学校から離れた場所で子育てをしていく世代のことを思うと、あまり子どもたちや保護者の負担が大きくならないよう、始業や終業の時刻、部活動の在り方など配慮して頂きたいと思います。	中学校の統合によって遠距離通学となる生徒の負担を軽減するため、時間割やスクールバスの運行、部活動の時間を工夫するなど、生徒の負担軽減に努めます。	C
4	八千代から吉田までの距離が遠い。 交通の便が悪く、自家用車で送迎となった場合、親が大変。	中学校の統合によって遠距離通学となる生徒については、公共交通の利用やスクールバスを運行して対応します。	D
5	すでにたくさんの御意見があると思うんですが、やはり送迎バスの充実を考えてほしい	中学校の統合によって遠距離通学となる生徒については、公共	C

	です。 少し前の案では朝のバスは1便とか…。それをのがすと親の送迎になります。共働きの世帯も多く、親の送迎なしでは行けない距離の家庭がほとんどだと思います。毎日のことなので、親の負担が増えるのは問題だと思います。クラブ活動も頑張してほしい。それなら帰りのバスの便もある程度選択できるのであれば安心して活動にも励んでもらえるのではないかと思います。勿論親も子供の為に負担が増えるのは当たり前ですが、安芸高田市の中学校はいいよと言えるような学校制度を作ってほしいです。宜しくお願い致します。	交通の利用やスクールバスを運行して対応します。 スクールバスの運行については、朝は始業に間に合う時間の1便、午後は終業時間と部活動終了時間の2便にするなど、魅力ある学校運営に向けて検討します。	
6	仮でも良いので、吉田町のどこかに学校を建てるなら、「1校案か、2校案か？」といった目安になるものがほしいです。 高宮からのキョリが一番遠く、ネックになる人がいるのに、吉田町の中心に建てるのなら、吉田の人は、良いかもしれないが、バスや車で送迎がメインの他の地域の方から見るとメリットが見れないと思う。 また、中心になると、今まで、下校時に、お店などに立ち寄る事のなかった子も、気になり、下校時や、長期の休みでの学校外での生活の変化も気になります。	検討を重ねた結果、中学校の統合については、「1校に統合、吉田町内に校舎を新築」として計画を策定します。 統合によって通学時間が長くなることが想定されますが、概ね1時間で通学できるようにスクールバスの便数や経路を検討します。	D
7	スクールバスを民間運営で委託すると説明されているが、バス・タクシー業界での人材不足がいわれている中で、安芸高田市も例外ではないと思う。現在小学校のスクールバス運営に追加して中学校のスクールバスを運営することは、現実問題実現可能なのか、委託している民間会社はどのように判断しているのかも計画の中に考慮してほしい。	スクールバスの確保については、中学校を統合する上で重要課題の1つと認識しています。現在のスクールバス運行业者と連携しながら、スクールバスの円滑な運行に取り組みます。	D
8	通学に関しては夕方2便バスがあるが朝は1便で足りるのか気になりました。 通学と部活の絡みで5時間授業を実施して夏休みなどを減らすと聞いたのですが、教職員の負担の面は大丈夫ですか？ 1校案だと高宮や美土里の生徒が20kmもかけて毎日通学するのは大変なので寮を作るか、吉田にある1Kや1Rのアパートに安く入居できるといいなと思いました。	中学校の統合に伴うスクールバスの運行については、朝は始業に間に合う時間の1便、午後は終業時間と部活動終了時間の2便にするなど、魅力ある学校運営に向けて検討します。 学校運営においては、教師の負担を軽減するなど、学校における働き方改革の取り組みを進めます。 現段階では、遠距離通学の対応としてスクールバスの運行を検	D

		討しており、寮の設置については考えていません。	
--	--	-------------------------	--

(3) 教育内容に関すること (5 件)

No	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	推進計画（素案）P2 ※十分な教育活動とは、教員を配置していれば子供達へ十分配慮した指導ができる。 ↓ 20 名による自主活動ができるのでは。これが教育環境の整備になると考える。	生徒数の少ない地域では、小学校から同じメンバーで中学校に進むため、多様な考えに触れる機会を持ちにくい状況にあります。一定程度の学校規模を確保することで、多様な考えに触れる機会が増え、生徒により良い教育環境が提供できると考えています。 また、生徒数の少ない学校では、体育の授業でチームスポーツのチーム編成ができなかったり、音楽の合唱などができない状況がありますが、工夫をして教育に取り組んでいます。	D
2	チーム担任制は子どもにとっても先生にとってもいい制度だと思うが、先生の人数が減ることへの不安感は拭えない。説明会資料によると、市内 6 中学校生徒の人数と先生の人数は現行で生徒合計 617 人、先生合計 57 人（管理職、養護、事務教諭を除く）。市が推奨する 1 校案にすると先生は 28 人となり人数は半減する。 「子どもたちの学びにとって 1 番望ましいのは「1 校案」と考えています」という結論を出されているが、なぜ先生を半減させることでより良い教育を提供できると思ったのか説明してほしい。 個人的な希望は、1 校案でも 2 校案でも先生の人数は 57 人。何かと制約があり、ルールと市民の声との間で葛藤もあるとは思いますが、「未来への投資」という他にはない素晴らしい目標を掲げられているので、妥協のない計画を作成してもらいたい。	教諭等の配置については、学校規模に応じて配置する人数が定められています。 中学校を統合することで学校数が少なくなり、市内の中学校全体に配置される教諭等の人数は少なくなります。1 つの学校に配置される教諭等の人数は多くなります。 中学校を統合することで、市内の中学校全体に配置される教諭等の人数は少なくなります。クラス替えが可能な学校規模を確保することで、より多様なかわりの中で柔軟な人間性や社会性を育む教育環境を整備することができると考えています。	D
3	多様な学びに合わせた教室で学び、だれもが学びの機会を得られる学校を実現するのは本当に大変だと思います。新しい時代の学びに向けての体制づくりは、どのように組み立ていく予定なのでしょう。しっかりと目指していただきたいです。そしてフリースクールなどを利用する、学校外に居場所を必	統合する中学校は、校舎の新築を計画しています。 統合校における学びについては、「未来志向」をもった上で、「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に	D

	要とする子どもとも、つながり続けられる学校となるよう願っています。	向けて、これからの新しい時代の学び舎を整備します。 また、学校教育の情報化が急速に進展しており、新たに学校における基盤的なツールとなる ICT を最大限活用しながら、個々の特性等にあった多様な方法で生徒が学習を進めることができるように取り組みます。 学校になじめない生徒については、SSR（スペシャルサポートルーム）の設置や ICT を活用しながらきめ細かな学習指導を行うなど、特性に合った柔軟な学びの実現に取り組みます。	
4	現在統合をみこした 5 時限授業、17 時までに帰宅であれば、通学距離が長くなっても子どもの負担に配慮されており良いのではないかと思うが、統合することによる人間関係の変化、構築による学習面への影響が心配である。特に中学校は、高校受験を控えており、早い子では、中学校卒業してすぐ就職する子どももいる。勉強内容も難しくなる中、統合で環境が落ち着かない、精神的にも勉強に集中できなくなるのではないかと心配である。クラブ活動について、選択肢が増えることは、望ましいことだと思うが、安芸高田市一校となると中学校単位で行われる大会などはどうなりますか。上位の大会（芸北大会、県大会）へ複数チーム編成して、皆が出場する機会を得ることが出来るのか心配する。選択肢が増えたのに、それを発揮する機会が無ければ、クラブ活動を続けよう、やってみようというモチベーションにも影響すると思う。	中学校を統合することで、生徒数が増え、新しい人間関係が構築されたり、クラブ活動の選択肢が増えたり、学校生活に変化が生じます。 学習面については、新たに学校における基盤的なツールとなる ICT を最大限活用しながら、個々の特性等にあった多様な方法で生徒が学習を進めることができるように取り組みます。 クラブ活動については、学校統合によって体育系・文科系とも選択肢が増え、生徒間の競争が生じることで生徒のモチベーションが上がると見込んでいます。上位の大会の運営については、現段階では未定です。	D
5	昨年の 12 月くらいにもらった資料に”協働的な学び”と”ICT の活用”がイラストで書いてあったのですが、具体的に何の科目で実施されるのでしょうか？	統合中学校における学びについては、全ての科目で可能な限り、新たに学校における基盤的なツールとなる ICT を最大限活用しながら、「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けて取り組みます。	D

(4) 地域に関すること（3 件）

No	意見の要旨	本市の考え方	区分
----	-------	--------	----

1	安芸高田市の中でも地域によって様々な文化があります。たくさんの文化に直接触れる機会は大切にしていきたいです。	本市では、地域の方に支えられて特色ある学校づくりを進めてきました。統合校中学校においても、地域との連携について検討していきます。	C
2	各地域で検討会を設置する等住民による話し合いが必要 高宮在住です。私は最初の保護者アンケートで「1校案」を支持しておりました。しかし今では考えを変え、この統合計画は一旦立ち止まった方がよいと考えております。なぜなら1校案であろうと2校案であろうと、保護者の考えが適切に反映されているとは思えないからです。また、中学校統合という地域住民にとってかなり重要な案件にも関わらず、説明会と保護者アンケートが行われたのみで、各地域での話し合いがまったくなされていません。 まず当初私が1校案を支持した理由ですが、高宮地区は子どもの数が少なく、統合により生徒数が増えることは子どもにとって望ましいと考え、且つ統合するのであれば一番生徒数の多い吉田がいいと考えたからです。その場合、2校案3校案ではなく、1校案しか候補がなくなります。 ですが、この1校案支持は「高宮中は吉田中と統合した方がよいのではないか」という意思表示をするにはそれしか選択肢がなかっただけであり、吉田以外の地域から中学校を全てなくし1校に統合すべきと考えているわけではありませんでした。 さて、以下は第1回の保護者アンケートの結果です。《※アンケート結果のグラフの記載がありましたが、ここでは省略しました。》 私の推察にはなってしまいますが、甲田の方々は1校案が13.3%と少ないことから、「甲田中学校に通わせたい」と考える保護者が多かったのではないのでしょうか。2校案3校案、どちらであれ甲田は人口が多いので統合するなら甲田中学校が残ると考えた上でのこの結果ではと考えます。しかし蓋をあけてみるといつの間にか高宮に統合されるという話になっており、甲田の方は驚かれたと思います。高宮在住の私ですら「なぜ高宮に統合？」と今でも腑に落ちておりません。高宮中学校の校舎が一番新しいという理由はま	中学校の統合については、生徒の教育条件の改善の観点を中心に据え、学校教育の目的や目標をより良く実現するために検討してきました。 中学校の統合によって中学校のなくなる地域が生じますが、地域づくりについては、市長部局と連携していきたいと考えています。 この計画で中学校統合の方針が決まりましたので、これから準備委員会等を立ち上げ、保護者や地域の方の意見を伺いながら、魅力ある統合中学校の設立に向けて検討していきます。	D

だわかりますが、通学距離が優位（1km？）という理由に納得する方は少ないと思います。また、吉田も1校案は29.9%と多くはありません。こちらも「どこになるかわからない1校案ではなく、今の吉田中学校に通わせたい」と考えた保護者が多くいたということではないでしょうか。 これらを踏まえると「自分の地域にある今の中学校に通わせたい」という意見表明の場がそもそもどの町にも存在していなかったのではないかと思ったのです。 冒頭に説明したとおり、高宮在住の私は「生徒数を勘案すると高宮中は吉田中と統合した方がよいのではないか」という考えでおります。しかし中には「高宮中学校に通わせたい」「自分の町から中学校をなくしたくない」「統合するとしても甲田がいい」など多種多様な意見があるはずです。そのような意見を地域内でしっかり聞き、意見のすり合わせをするというプロセスが飛ばされています。少なくとも小学校統合に関しては地域に準備委員会を設置し、丁寧に何度も議論されていたかと思います。中学校統合も同様にすべきです。 高宮だけでなく、甲田中のあり方を一番に考えられるのは甲田の方々ですし、吉田中のあり方を考えられるのは吉田の方々です。他の地域でも同様です。安芸高田市全域で集計されるアンケート結果で決められる性質のものではないと思います。 「そもそも我が町にある中学校をどうするのか」「我が町の子ども達をどのような環境で教育していくことが望ましいのか」、それを全ての町でそれぞれ話し合わなければいけないのではないのでしょうか。また、保護者はもちろんのこと、保護者以外の地域の人々も加えた上で話し合う必要があります。そのプロセスを抜きにしてこの統合事業を進めることは出来ません。 話し合いをした上で全ての町で「吉田に全て統合し新校舎を建設」という意見が多ければその時に今の1校案を実行すればいいと思います。 まず各地域に検討委員会なりを立ち上げ、保護者や住民による話し合いを実施していただきたいです。		
--	--	--

3	今後、生徒数は減少し続けるとのことですが、何人まで学校は維持できるのでしょうか。次は他市町村との統合になっていくのでしょうか。最短で開校できても、資料にある生徒数の推移では、10年もたたないうちに再度統合を考えなければならないのでしょうか。 このような将来を見据えるのであれば、なおさら開校時から地域で日常的に共有できる学校であるほうが良いと思います。たとえば、学校の図書室が市立図書館のように開放してあると、放課後にも利用でき、通学に時間がかかる問題も解消できるのではないかと考えます。 また、このように地域と共有できる学校であると、教師だけでなく、いろいろな視点から見守ることができるのではないのでしょうか。セキュリティ面の課題などもありますが、部活動の地域移行も進んでいるので、教師以外の人との関わりをどんどん取り入れていく必要があると思います。	今後も市内の生徒数の減少が見込まれますが、中学校の統合後は、当面の間、中学校を維持できると考えています。 統合中学校と地域との連携や施設の共用については、保護者や地域の方の意見を伺いながら検討していく予定です。	C
---	---	---	---

(5) その他（7件）

No	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	統合に向けては賛成ですが、全ての意見の反映は不可能なので、ある程度の妥協が必要だと思います。 ①安全な場所、安全な建物 ②通学の便利性 ③教育内容 絶対的に押さえておかなければならない所を決めていくことが先だと考えます。 教育内容や先生配置は、通う生徒の状態によって対応していける体制を見直して行けば後から変更がきくところだと思います。 なので、予算がどこまで確保、継続できるのか。 バス通学も必須なので、継続的な運行ができる人員を確保できるのか。という点も現実問題避けられないところです。 結局、安芸高田市民が払う財源なので、今後の市民の人口等のことも考えて実現可能な所にするしかないのかなとも思っています。 その部分を考えると、夢物語としての思想だけではあとあとつげが回ってくるのは安	統合中学校の設置場所については、場所の安全性、通学の利便性など、様々な条件を総合的に判断して決定する計画です。 統合中学校への通学に関しては、スクールバスが必須と考えており、確保に努めます。 中学校の統合には、多くの費用がかかりますが、有利な財源を活用して整備していきます。また、施設については、地域との共同利用を検討するなど、施設の有効活用を検討していきます。	A

	芸高田市に住む住民や住み続ける住民なので、シビアですが経済的に実現可能なのかとすることが1番だと思います。 建物なので劣化していくものです。学校以外でも避難場所やイベント会場としても使いやすいシンプルなもので、変化する教育内容や外部からの講師を招いたり、教育内容を充実する方に予算を回して欲しいと思います。		
2	学校内に小さくて良いので売店があると、スクールバスにタイミングがあわずすぐに乗れなかったり、帰りのバスの中などでも食べて帰れると、長距離の移動も少しはやわらぐと思います。 始業時間等をずらして、夏休みを短くして調整するのはとても良い案だと思いました。 統合するのなら、各学校の特徴（年間行事や、クラブ等）を入れてほしいし、その特徴を知らない人もいられるかもしれないので、メリットや自慢のポイントとして、言ってほしいです。 市長が変わると思うが、今回の話が、前回みたいに途中でなくなる事はあってはならないと思います。次のタイミング...なんてのは、もうないと思います。少しでも早く話を進めてほしい。大事な事なのに一度話をながして、この地域での子育てに対しての市の考えに不信感をおぼえます。 よろしくお願いします。	統合中学校で整備する施設内容については、これから統合準備委員会等で保護者や地域の方と検討します。 統合中学校の運営については、現在の中学校の良いところを持ち寄りながら、新しい中学校を創造していきたいと考えています。 中学校統合の推進については、市長部局と連携しながら、策定した計画に沿って着実に進めたいと考えています。	C
3	国からの指標をもとに、統合計画を立案していることは、理解出来るが、国の指標が全ての地域に適用するのが正解であるとは思えない。指標は、その時の子どもの数などの状況によって変わっていくものだと思う。あくまで、安芸高田市の子どもたちが、安心して、安全に中学校に通い、将来につながるような生活、考え方、人間関係の構築が出来るように中学校の環境を整えてほしいと思う。今の各町一校を維持していくのが、地域に子育て世帯を定住させるためには必要だという考えも否定出来ないと思う。一校統合することで、各町の特徴・特色がなくなり、地域との関わりが無くなることは、将来的に子どもが戻ってきたい場所と思える場所にならないということにつながり、将来の人口減少を増長させていくのではないかと危惧する。	中学校の統合については、生徒の教育条件の改善の観点を中心に据え、学校教育の目的や目標をより良く実現するために検討してきました。 中学校の統合によって中学校のなくなる地域が生じますが、地域づくりについては、市長部局と連携していきたいと考えています。	C

4	保護者全てに参加・聴講できるように、きめ細かい説明会を望みます。 地域の方達への説明も参加して話を聴いてもらえるような説明会を望みます。	中学校の統合を進める上で、保護者や地域の方の理解や協力は不可欠と考えており、参加しやすい説明会を検討します。	C
5	昨年の 12 月くらいにもらった資料に、持続可能な設備に住民が集えるようなカフェスペースがあったのですが、中学校にそのような施設は必要なのでしょうか？市役所で良くないですか？ 制服、カバンなどについてですができれば洗たくし易く、シンプルであり家計の負担にならないものだと助かります。	統合中学校で整備する施設や制服などは、これから統合準備委員会等で保護者や地域の方と検討します。	C
6	特になし	策定した計画を基に、中学校統合を進めます。	E
7	特になし	策定した計画を基に、中学校統合を進めます。	E